



ひらどだい

令和4年度 学校だより 2月号 横浜市立平戸台小学校 校長 丹波 悟亮



梅の花

副校長 渡邊 智志

1月27日の授業参観の折には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの学ぶ姿をご覧いただきました。温かい眼差しに見守られながら、子どもたちはしっかりと学習に取り組んでいました。感染症対策のため、保護者の皆様に来校いただく機会も制限される期間が続きますが、社会の情勢を見ながら、一步一步前に進んでいきたいと考えています。引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、寒さは厳しいものの日差したっぷりの日が続く中、校庭の梅が咲きました。紅白並んで立つ2本のうち、先に紅梅がつぼみをほころばせました。並んで立つ梅の木でも開花のタイミングが違うことに改めて気づかされました。



調べてみると、梅の木には500以上もの品種があるようです。生物学的に近い杏子（あんず）との交配種も多く、開花の時期だけでなく花の色や実の大きさ等、梅の木によってさまざまな違いがあるとのこと。なんとも個性豊かな印象を受けます。図鑑を見たり木を観察したりして様々な違いを知るにつれて、どれもいとおしく思えてきます。校庭の白梅も、焦らずじっくりと開花を待とうと思います。

春されば まづ咲くやどの 梅の花 ひとり見つつや 春日暮らさむ (山上憶良)

現代語訳では、「春になると最初に咲く庭の梅の花を、どうして一人で見ながら春の日を過ごすことなどできるのでしょうか。(いや、皆さんと一緒に見ているからうれしいのです)」という意味になります。学校と地域・家庭の連携を大切に、今後も教育活動を展開してまいります。これまでと変わらぬご理解ご協力をお願いいたします。